



スモールステップ



1月号

キャリア教育について

副校長 小滝 義浩

本校の今年度の学校経営計画の中には、「教育課程、年齢・発達段階等に応じたキャリア教育の推進」が掲げられています。

ちなみに、「キャリア教育」について東京都教育委員会では、「児童・生徒の実態に応じて、労働や就職・就労のみにとらわれず、自分でやれることを増やしていこうとする態度・意欲（勤労観）をはぐくみ、自らの生き方を主体的に考え、進路を適切に選択できる能力・態度（職業観）を障害の特性や発達段階に応じて育成する教育」と定義しています。さらにこれをもとに、「職業的（進路）発達に関する諸能力」を定め、四つの能力領域（人間関係形成能力、情報活用能力、将来設計能力、意思決定能力）に大別されています。

1 人間関係形成能力

いろいろな人（先生や友だち、校外学習先でお世話になる方々等）とのかかわりにより、お互いの長所を知り、互いを認め合う。また、あいさつや返事等を行い、共に活動していくことで人間関係を築いていく。

2 情報活用能力

分からないことを聞く・調べる、家庭も含めて世の中には色々な役割があること、それらに興味や関心を抱く、実際に役割を体験することで今後の生活等に役立てる。

3 将来設計能力

係りや作業、家の手伝い等を行う、それらを通じて見通しをもったり大切さを理解する。また、決まりごと（時間を意識する等）があることを知り、守ろうとする等、知識や技能、態度を養っていく。

4 意思決定能力

色々なもの・行動等を選択し、やり遂げようとする、また、それらを通じて、夢や希望をもち、将来に向けて考えたり、努力していく。

これらを受けて、本校で行っていることの一例を紹介いたします。

- 登下校時等：あいさつ、予定の確認、頑張った活動を仲間と振り返る
- 係活動等：プリントを取りにいく、リサイクル活動（シュレッダー用の用紙回収等も含め）、テーブル拭き、教室の照明スイッチ操作
- 校内探検・校外学習等：働いている人の仕事内容等を調べる、仲間との交流。マナーの育成等。
- ものづくり：手順を調べたり、手順に沿って作業等を進める、時間を意識した行動等。

他にも行事等を含め、各教科等の中で様々なことに取り組んでおります。内容によっては、御家庭でも行えるものがあるかと思います。毎日の取組みの中でも、試してみたいかがでしょうか。今回の内容が少しでも参考になれば幸いです。